

「奥能登絶景海道」の取り組み



奥能登岬みちづくり協議会



1. 「奥能登絶景海道」の紹介

2. 活動の状況

3. 活動を進める上での課題

1. 「奥能登絶景海道」の紹介

奥能登絶景海道



（1）珠洲市の概要

人口：10,713人
(R7.8.31現在 住民基本台帳人口)

面積：247.20 km²

観光入込客数：約68万人 (R4年：年間)



1. 「奥能登絶景海道」の紹介

奥能登絶景海道



(2) 「奥能登絶景海道」ルート



1. 「奥能登絶景海道」の紹介

奥能登絶景海道



(3) 受け継がれてきた伝統・文化



揚げ浜式製塩法



あえのこと (12月5日・2月9日)



飯田燈籠山祭り (7月20・21日)



宝立七夕キリコまつり (8月第1土曜日)



(1) これまでの主な活動

H18. 7.18 「奥能登岬みちづくり協議会」設立

H18. 9.25 ルート名称を「奥能登絶景海道」と決定

H19. 2. 4 「シニックバイウェイフォーラム」開催（珠洲市）

H19. 9. 7 「第2回 北陸風景街道交流会議」開催（珠洲市）

H19.10.30 「奥能登絶景海道」が日本風景街道に正式認定

H29.10.27-28 「日本風景街道大学

奥能登絶景海道 珠洲キャンパス」開催（珠洲市）

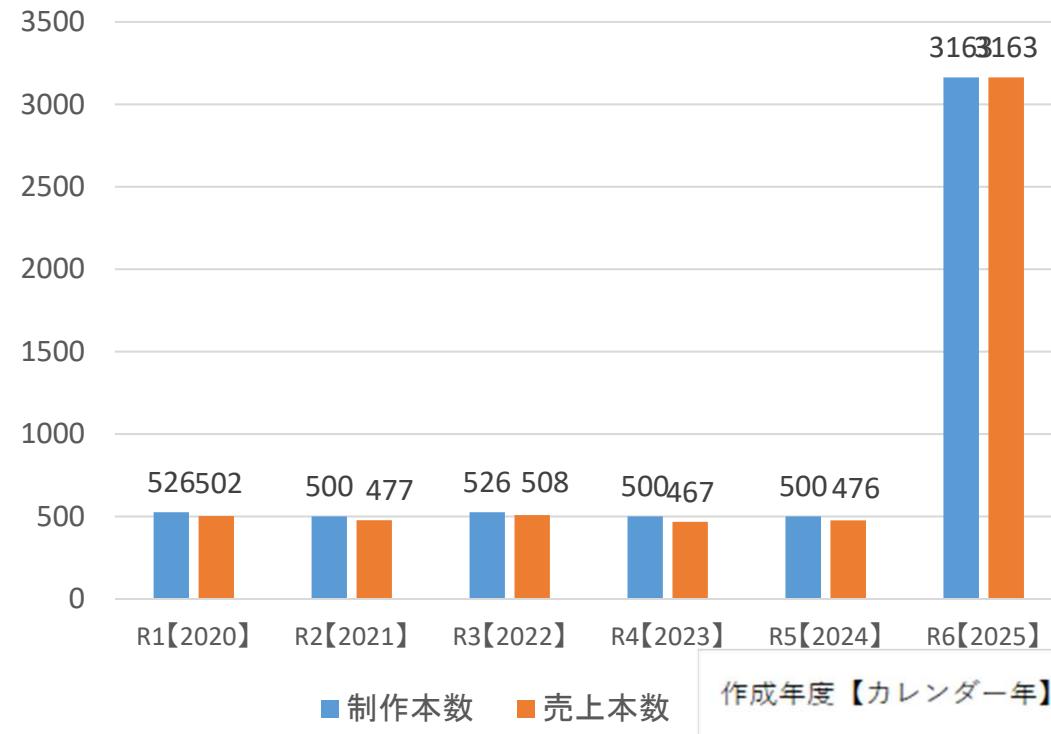
H29.10.28 「第11回 北陸風景街道交流会議」開催（珠洲市）



(2) 最近の主な活動

① 「奥能登絶景海道カレンダー」の制作・販売

- * H20年度より毎年制作・販売し、ご当地カレンダーとして定着
- * 日本風景街道コミュニティの臼井理事を発起人としてチャリティー カレンダーを作成、全国道の駅などで販売、売上金の一部367万7,000円を震災復興支援分として寄付



2. 活動の状況



②オリジナルグッズの開発・販売

絶景ポストカード



トートバッグ



NEW!!

GOTO SUZUロゴ
タオル・Tシャツ

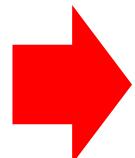


NEW!!

負けとられん珠洲
缶バッジ・ステッカー



市内道の駅で
販売



グッズ販売 = 協議会運営資金



(1) 自主財源の確保

H28年度より行政からの支援は市の負担金（10万円）のみとなっており、協議会の活動を継続していくため、自主財源の確保が課題となっている。

また、地震以降、事業を再開できない事業者が多く、道の駅の商品が不足している。



すでに定着しているグッズを引き続き製作・販売するとともに、新グッズの開発に取り組み、今後も「奥能登絶景海道」の魅力をPRしていくとともに、利益を景観維持等の活動に運用していきたい。

3. 活動を進める上での課題

奥能登絶景海道



(2) 知名度のアップ

「奥能登絶景海道」や珠洲市の知名度は全国的にはまだまだ低い。また、今後創設予定である「能登半島絶景海道」との住み分けを考える必要がある。



ルート沿線で行われる様々な取り組みやイベント等とも連携し、SNS等も活用しながら、「奥能登絶景海道」や珠洲市の知名度向上を図りたい。



デジタルマップの運用開始 (R5~)

<https://platinumaps.jp/d/suzumap>



植樹活動の支援 (R2)



北陸風景街道公式
インスタグラムへの投稿

R3 : 3回

R4 : 4回

R5 : 3回

R6 : 4回